平成 19 年 4 月 26 日

各　　位

会　社　名　宝ホールディングス株式会社
代 表 者 名　取締役社長　　大宮　　久
(コード番号　2531　東証、大証　第 1 部)
問 合 せ 先　取締役 IR 室長　　松崎　修一郎
T　E　L　(　0　7　5　)　2　4　1　-　5　1　2　4

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 14 日に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の連結業績予想を、下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期　連結業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想　(A) (平成 18 年 11 月 14 日発表)	198,000	6,800	3,400
今回修正予想　(B)	198,500	7,800	4,200
増　減　額　(B)－(A)	500	1,000	800
増　減　率　(%)	0.3	14.7	23.5
ご参考：前期実績（平成 18 年 3 月期）	196,119	5,931	5,320

2. 連結業績予想修正の理由

バイオ事業においては遺伝子工学研究分野等の販売が好調に推移し、また酒類・食品事業においても売上原価や販売費及び一般管理費が中間期における予想より減少したこと等により、売上高、経常利益ともに予想を上回る見通しとなりました。また当期純利益につきましても、経常利益の増加に加え、投資有価証券の売却益等により中間期における予想を上回る見込みとなりました。なお、宝ホールディングス単体につきましては中間期における予想から変更はありません。

また本日、当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社（コード番号 4974 東証マザーズ）が、平成19年1月31日に公表いたしました業績予想に対する修正発表をおこなっております。

※ 当期純利益の前期実績には、持分変動利益（3,564 百万円）等が計上されています。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、平成 19 年 5 月 15 日発表予定の決算発表数値とは異なる可能性があります。

以　上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。